

土の中の動物はこんなことをやっています

土の中には多くの種類の動物が数多くみられますが、それらの動物は単に土の中にすんでいるだけではありません。いろいろな活動を行い、それが土に対して大きな影響を与えています。土が誕生し、成長・成熟し、肥沃な状態を維持できるのは、土の中の微生物や植物と動物の働きがあるからです。土の中の動物の働きは、1) 生物遺体を細かくすること、2) 土を耕し、かき混ぜること、の大きく2つに分けられます。

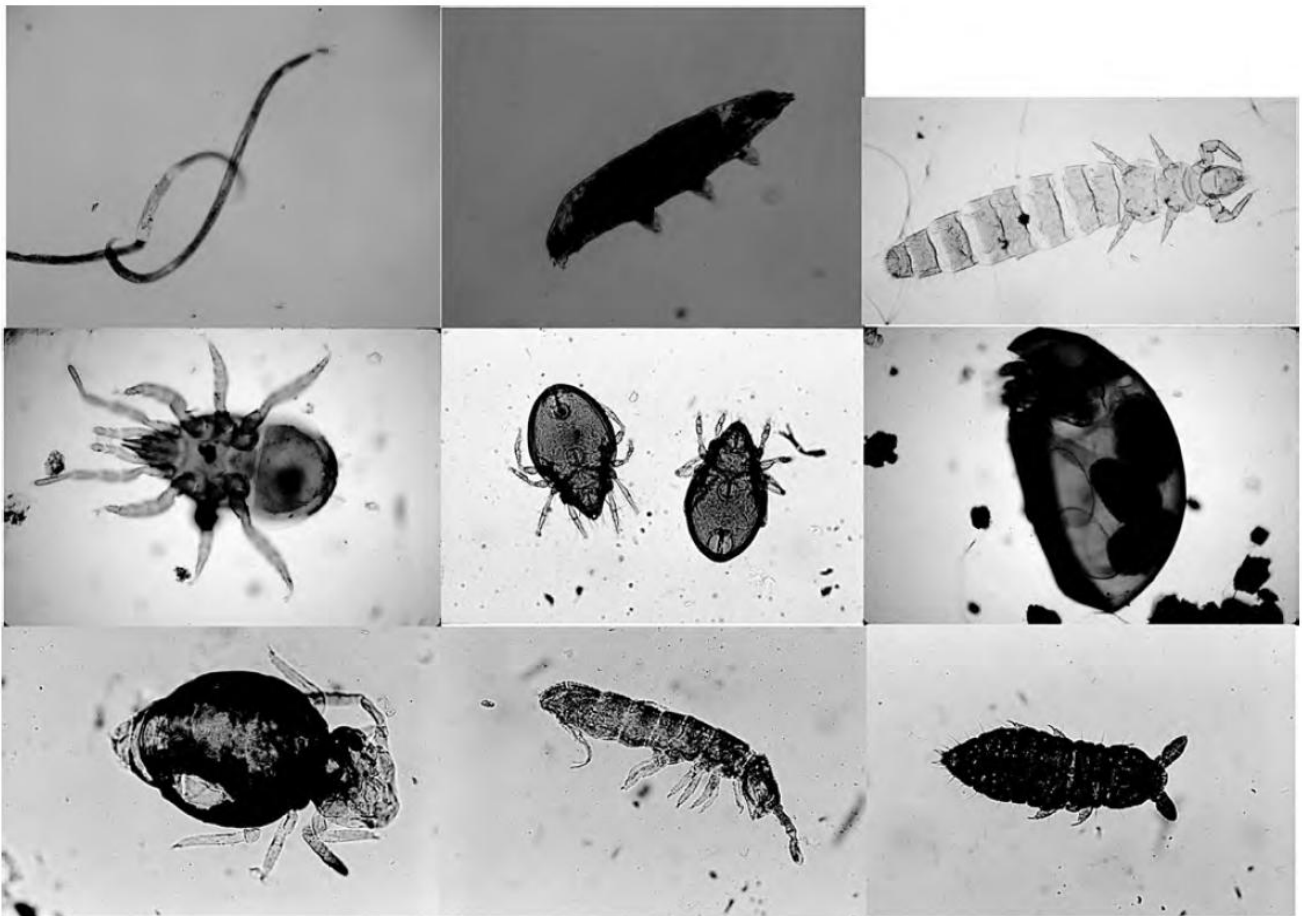
土の中にいる無数の動物は、年間を通して、昼と夜の別もなく、土の中で自分たちの作業を黙々と行っています。その働きは私たちの生活にとって重要なもので、もし土の中の動物の働きがなければ、あの緑豊かな森は続かないでしょう。

「皆越ようせい氏土壤動物写真」と講演会

動物写真家の皆越ようせい氏は土壤動物の生態写真に取り組まれています。野外で生きたままの姿をとらえた皆越さんの写真は素晴らしい芸術作品であり、土壤動物の貴重な生態記録でもあります。その迫力に驚かれることと思います。また、どうやって撮影されたのか不思議に思うことでしょう。この写真は必見です。

また、7月25日(日)午後1時30分から当館講堂で、皆越ようせい氏による講演会を開催します。プロならではの写真と軽妙なトークで土の中の動物を紹介します。直接話を聞ける貴重な機会です。是非ご来聴ください。

(なかむら おさみ・学芸主幹)



肉眼で観察するのは難しい動物

左上から右下に向かって、線虫、クマムシ類、カマアシムシ類(ヨシイムシ)、トゲダニ類(ハエダニ)、ササラダニ類(ツヤダマゴダニ)、ササラダニ類(イレコダニ)、マルトビムシ類、ツチトビムシ類、ムラサキトビムシ類